

試験依頼書

一般財団法人 日本建築総合試験所 殿

(一財)日本建築総合試験所「試験等業務約款」の内容を了承のうえ、試験を申込みます

試験番号	—	—
受付	年	月 日
報告	年	月 日

※本線の中だけ記入下さい。

依頼者	会社名	フリガナ				
	住所	フリガナ (〒 —)				
	担当者	部課名	フリガナ			
		氏名	E-Mail			
	Tel :	—	—	Fax :	— —	
		業務課 CD 記入欄				
請求書送付先 (どちらかに印)		<input type="checkbox"/> 上記依頼者と同じ	<input type="checkbox"/> 裏面(次頁)請求書送付先	報告書送付先 (いずれかに印)		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 送付 上記依頼者と同じ		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 送付 裏面(次頁)報告書送付先		
		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 来所		
試験依頼の名称	ホルムアルデヒド放散量試験					
試験依頼の目的	ホルムアルデヒド放散量の確認					
報告書宛名						
材料品名及び商品名						
試験項目 (試験方法)		試験体数 (形状寸法等)		試験室記入欄	業務課記入欄	
				↑ ※試験単価・名称・件数を記入		
試験体持込日	年	月	日	試験体引取り日	年 月 日	
試験希望日	年	月	日	～	年 月 日	
その他当所への連絡事項 (試験内容等の打合せ担当者が上記依頼者と異なる場合、請求・お支払に関する事項等ご記入下さい。)						

(一財)日本建築総合試験所 記入欄

試験開始予定日:	年 月 日	試験終了予定日:	年 月 日	報告書発行予定日:	年 月 日	受付手続きが完了しましたので、試験依頼書控(ビ-)を提出致します。
業務課長	主査	業務担当者	上級技術管理者	技術管理者	打合担当者	

試験料金		報告書発行日	
請求額	請求日:	請求書No.:	正
入金額	入金日:	現金 : 振込	副
			郵送 : 来所 : ()

※以下については、請求書送付先・報告書送付先が前頁（表面）の依頼者と異なる場合のみ記入して下さい。

請求書送付先	会社名	フリガナ		
	住所	(〒 -)		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel : - -	
		氏名		
Fax : - -	E-Mail :			
請求書宛名 (上記と異なる場合のみ記入)				

報告書送付先	会社名	フリガナ		
	住所	(〒 -)		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel : - -	
		氏名		
Fax : - -	E-Mail :			

※ 表面に記載された依頼者以外の共同依頼者については、以下に記入して下さい。

共同依頼者	会社名	フリガナ		
	住所	(〒 -)		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel : - -	
		氏名		
Fax : - -	E-Mail :			

共同依頼者	会社名	フリガナ		
	住所	(〒 -)		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel : - -	
		氏名		
Fax : - -	E-Mail :			

共同依頼者	会社名	フリガナ		
	住所	(〒 -)		
	担当者	部課名		
		フリガナ	Tel : - -	
		氏名		
Fax : - -	E-Mail :			

試験体に関する情報の詳細（主として報告書に記載する事項）

下記の項目についてご記入頂きますよう宜しくお願いいたします。なお、該当しない項目は「——」を、不明な箇所は「不明」を、明らかにできない項目は「明らかにできない」とご記入頂きますよう宜しくお願いいたします。書ききれない場合は別に表などを作成して、まとめて頂きますようお願い申し上げます。

また、採取した試験片は、直ちに1枚ずつアルミニウム箔で包み、印字されていないポリエチレン袋に入れて密封して、当試験所に送付してください。

試験方法	<input type="checkbox"/> JIS A 1901 小形チャンバー法(20L) <input type="checkbox"/> JIS A 1460 ガラスデシケーター法 <input type="checkbox"/> JAS 合板、フローリングなどのガラスデシケーター法 <input type="checkbox"/> JAS 集成材、単板積層材などのアクリルデシケーター法 <input type="checkbox"/> その他（ ）	
正式商品名		依頼者と製造会社が異なる場合のご依頼で、かつ、商品名および製造会社名を報告書へ記載するよう要望される場合、別途、製造会社からの承諾書が必要となります。
製造会社名		
所在地		
製造年月日		
ロット番号		
断面構成図	別添、図面をご提出願います。構成される各材料の名称と厚さまたは塗布量などを記載してください。	
採取前の原板の寸法		—
試験片の採取年月日		原則、製造直後に採取願います
試験片の採取場所 および所在地 (具体的に)		例：上記製造会社の工場内倉庫、製品置き場など
試験片の採取者	会社名： 所属： 氏名： 連絡先 tel：	—
試験片送付までの保管	試験片の送付までは、室温が28℃を超えないような室内で保管してください。また、移送の時も同様をお願いします。	

【参考】試験片の形状と数量（一般的な事項を示しています。詳しくは担当者にお尋ね下さい）

種類	形状寸法	数量など
チャンバー法	板状試験片 シールあり 165mm×165mm×製品厚さ	製品厚さは20mm程度まで。原則、数量4体。
	シールなし 147mm×147mm×製品厚さ	原則、数量2体。
	断熱材、保温材など	(担当者にご確認願います) 材料規格による。
ガラスまたはアクリルデシケーター法	ボード類 (JIS A 1460 で試験を行う場合) 50mm×150mm×製品厚さ	全表面積が1800cm ² となるような数量を計算してこれを1組とし、2組分用意する (製品厚さが概ね0.2~3cm程度であれば、通常22~24枚)
	合板、フローリング	50mm×150mm×製品厚さ 20枚
	集成材、単板積層材	(担当者にご確認願います) 両木口面を除く表面積が450cm ² となるような寸法を計算してこれを1体とし、2体分用意する
	壁紙	製品幅×約2m 1枚